

2021年度 長野県女性審判研修会報告書

報告者：中谷律子

1. 目的

①女性審判員の審判技術向上を図る

ブロックでコンセプトを統一し、一貫した審判技術を身に付け安定した判定力を身につける

②女性審判員の普及育成

審判を志すきっかけの場とし、女子の試合を全て女性審判で担当できる人数まで増やす

2. 開催日時・会場

会場：学校法人松商学園 松商学園高等学校

(〒390-8515 長野県松本市県 3-6-1)

協力チーム：松商学園女子バスケットボール部

日程：2021年7月4日(日)

タイムテーブル：

内容	
10:00	集合・挨拶
10:10	笛の吹き方・シグナル
10:20	ドリル(1対1、2対2、3対3)
11:15	ミニゲーム
12:30	終了

3. 講師

長野県内3級インストラクター4名

4. 参加者

長野県 B級3名、C級1名、E級11名、ライセンスなし7名

計22名(高校生2名、学生5名)

5. 感染症対策

①健康観察

- ・受付時にJBA「健康チェックシート」の提出
- ・受付時に検温

②手指消毒・マスク着用

- ・受付時の消毒と会場に設置した消毒液でのこまめな消毒
- ・実技以外は常時マスクの着用の徹底
- ・ホイッスルカバー着用義務
- ・レフェリーマスクは任意

③更衣室使用について

- ・更衣室は済ませて参加する
- ・研修後はステージを更衣場所とし密にならないようにした

④受講者数の制限

- ・受講者を30名以下に限定

⑤グループごとでの活動

- ・受講者を4グループに分けて研修会を行った

6. 研修会の内容

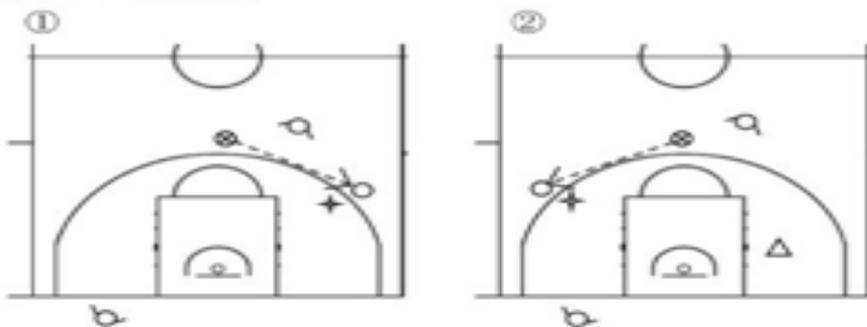
10:10~11:15

ドリル<グループワーク>…今回は4つのグループに分かれ、ドリルを行った

1 笛の吹き方/シグナルの確認/TOレポート練習

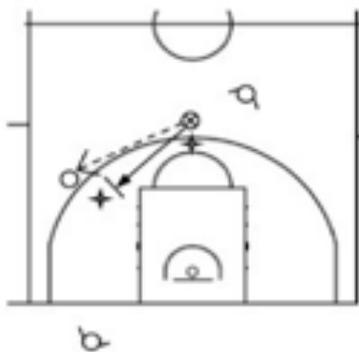
実際に笛を鳴らしてみる、状況を想定してのシグナルやレポート練習を行った

② 1対1 (45度の1対1)



- ・バイオレーション、ファウルの判定
- ・トレイル、リードでの役割やポジションの確認
- ・ファウルコール後TOへのレポート

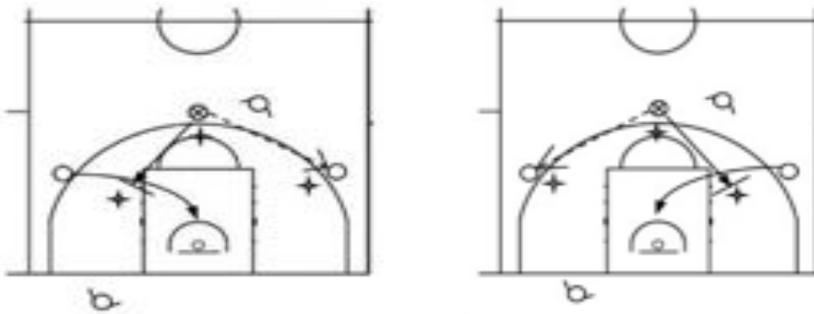
③ 2対2 (45度のスクリーン)



- ・「正しいスクリーンとは何か。」実技練習で生かせるよう各自で事前学習をしてきてもらった
- ・スクリーンに対してのトレイル、リードの役割分担、プレーの見方の練習
- ・レフリーディフェンスの必要性 (イリガルなのはオフェンスなのか、ディフェンスなのか)
- ・バイオレーション/ファウルの判定
- ・ファウルコール後TOレポートまで行った

④ 3対3 (スクリーンを使った3対3)

トップからエリア1か3にパス、逆サイド45度でのスクリーンを使ってゴールにカッティング



【トレイル】

- エリア1へパス → オンボールを捉えながら、逆サイドからの飛び込みに対してもアングルの確保やポジションアジャストの練習
- エリア3へパス → スクリーナーとそのディフェンスの関係性を把握し、レフリーディフェンスをする中で、「正しいスクリーン」がされているかの見極めをする

【リード】

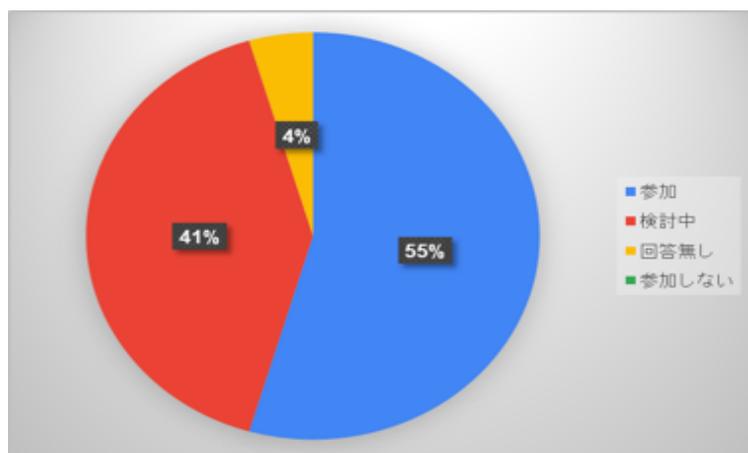
- エリア1へパス → エリア3でのスクリーンを、アウトサイドインで捉えられるようなポジションを確保する(ボールラインの意識)。スクリーナーとそのディフェンスの関係性を把握し、レフリーディフェンスをする中で、「正しいスクリーン」がされているかの見極めをする
- エリア3へパス → エリア3からの1対1に対する準備を行う。ボールラインを意識し、逆サイドからの飛び込みに対しての視野の確保。ショットファウルへの準備

11:15~12:30

【5対5】

- ① デモゲーム (2PO) 8分ゲーム
 - グループごとに分かれて見学し、講師より解説
- ② ミニゲーム 3分ゲーム×2回・・・2人1組ペア
 - 1回目: トスアップスタート、タイマー止め
 - 2回目: Aチームのセンターラインからスローイン、タイマー流し。(フリースロー時は止め)
 - ゲームやクォーターの始まり方やCC・U1の役割や立ち位置等を確認しながら行った
 - ミニゲーム終了ごとに講師よりフィードバックを行った
- ③ デモゲーム (3PO) 10分ゲーム
 - B級審判員を対象に行った
 - 各自の判断で希望者のみ見学

【参考アンケート】 12月開催予定の長野県女性審判実技研修会に参加希望しますか？



参加	12
検討中	9
回答無し	1
参加しない	0
	22

6. 研修会を終えて

今回の研修会は参加者の多くが未経験者や初心者の方でした。参加者の方の研修会に向き合う姿勢からは、短い時間の中で、少しでも何かを習得したいという意気込みがひしひしと伝わってきました。日頃抱えていた疑問や不安を自身で確認し、確信を得たことで、最初の段階では小さかった笛の音や身振りも、最後のミニゲームの頃には、自信を持って判定していく姿へと変わっていきました。有資格者の方は、経験がある分、所作の一つ一つに強さがありました。経験の浅い方にとってその姿は良いお手本になったのではないのでしょうか。また、初心者の方の姿から刺激を受け、初心に戻る良い機会となったはずです。

参加者は、学生・主婦・社会人・教員・クラブチームのプレーヤー等、様々で、審判としての「仲間作り」にも良いきっかけの場になったのではないかと思います。

今回、コロナ禍にも関わらず、快く会場及びモデルチームとしてご協力いただきました松商学園高校の皆様、並びに、長野県協会審判委員会の皆様のお力添えに、心より感謝申し上げます。

最後になりますが、我々長野県女性審判員がこのように充実した活動ができるのは、周りの方の支え、ご理解、お力添えをいただいてこそこのことと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。女性審判員として先頭を切ってカッコ良い姿を見せ続けて下さった諸先輩方の当時の並々ならぬ努力や築いて下さったこの環境が当たり前ではないことと、今も温かく私達を応援して下さる想いを忘れずに、一人一人が常に感謝の気持ちを持って行動できる審判員でありたいと思います。

女性分科会担当 中谷律子

《研修会の様子》

